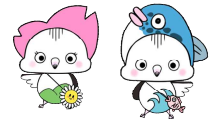




かみのせき學苑

上関小学校だより



令和5年9月臨時号

「令和5年度全国学力・学習状況調査」「前期学校評価」の結果

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。6年児童は、国語、算数の答え合わせをし、一人ひとり成果や課題を確認し、次の目標に向かって取り組んでいるところです。今回は、全国、県との比較を踏まえ、成果や課題について分析した結果をご報告します。また、合わせて行われた児童への質問についても、良かった点と課題となる点について分析しました。

【国語】

(1) 成果

① 四 文章の種類とその特徴について理解する。

- ・【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する問題について、正答率は、全国平均、県平均よりも高かった。

② 二 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付ける。

- ・【相田さんのメモ】の空欄にあてはまる内容として適切なものを選択する問題について、正答率は100%であった。

(2) 課題

① 三 漢字を文中で正しく使うことができる。

- ・「～いがいと草が生えてきた」の「いがい」を正しく書けていない児童が多かった。

(正答)「意外」 (誤答)「以外」「似外」

② 三 情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解して使うことができる。

- ・相田さんが【資料3】の情報をどのようにして整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する問題について、正答率は50%であった。

(誤答)「元気に運動」と栄養素が線で結んであるにも関わらず、4「運動と栄養素の働きの関係」ではなく2「食品と栄養素の働きの関係」を選んでいる。

(3) 今後の取組

○語彙力が十分でないことから、分からない言葉をそのままにせず意味を調べたり、読書時間を確保したりして語彙を増やす機会を意図的につくる。

○時間をかけて、正しく内容を読み取ることを意識した学習を行う。

【算数】

(1) 成果

○示された表から数値を読み取ったり、数を選んで説明したりすることができる。

○乗法の計算は、ほとんどの児童が習得している。

(2) 課題

② (3) 開いた三角形を正三角形にするために、半分に折った状態の角の大きさを求める。

(誤答の理由) 開いた状態の「60度」と解答している。

② (4) テープを直線で切ってできた2つの三角形の面積の大小について説明する。

(誤答の理由) 底辺だけでなく高さも等しいことに目を向けられないことや、高さの数値が書かれていないために高さの位置を明確にできないことが挙げられる。

(3) 今後の取組

○授業において、話し合いや振り返り等で条件を付けて話させたり書かせたりする。

○それぞれの学年で習得すべき知識・技能をやまぐちっ子プリント等で繰り返し練習させる。

○最後まで説明する習慣を付ける。

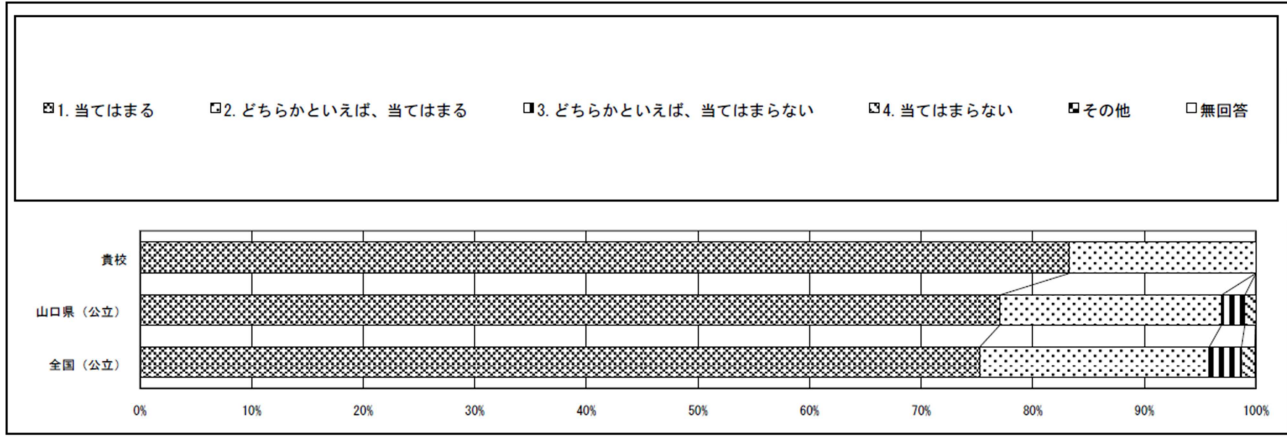
全教科での今後の取り組み

- 全ての学習において、文章を正確に読み取る習慣を付ける。
- やまぐち学習支援プログラムのプリントを活用し、基礎基本の定着を図る。（朝学、授業、宿題等）

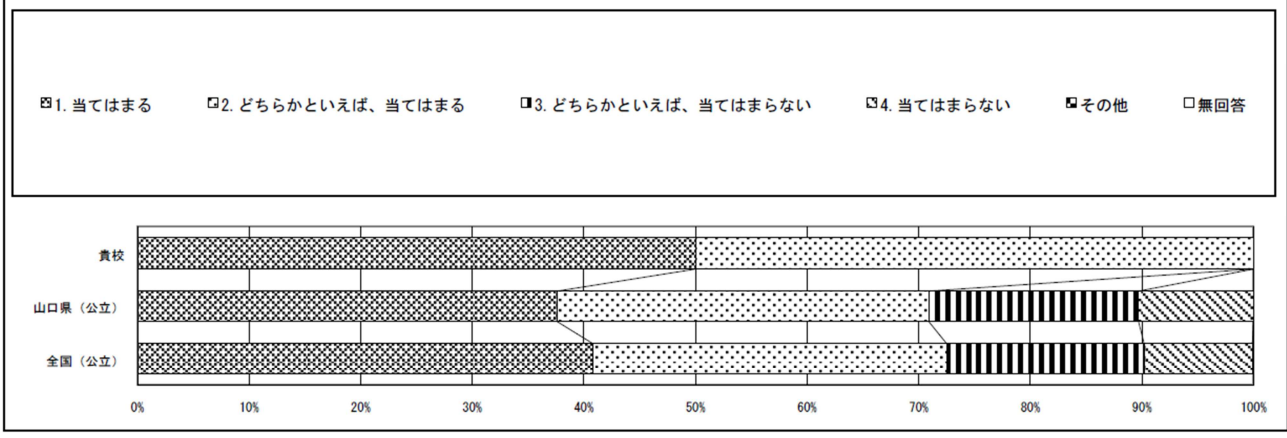
【児童質問紙】

(1) 成果

①人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

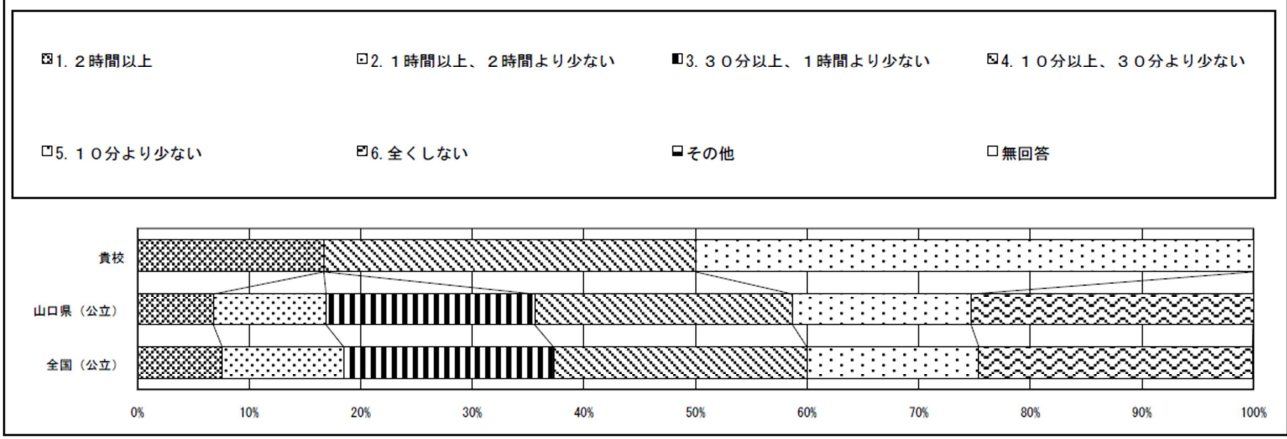


②外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。

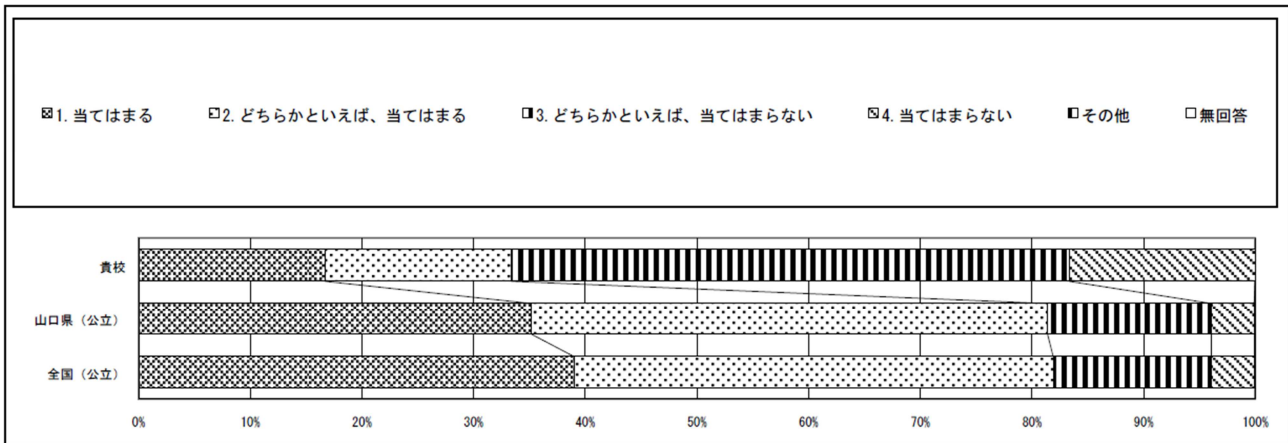


(2) 課題

①学校の授業時間以外に、普段(月～金)、一日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



②授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。



(3) 考察

○全体的に、社会性や基本的な生活習慣は身に付いている。規範意識も高く、周りの人と協力することや助け合って生活することの必要性も理解している。

○学習についても、その必要性は理解している。特に算数は、社会に出てからも役に立つことを感じており、「算数の勉強は大切だと思いますか」という質問に対しては、6年生全児童が「当てはまる」と回答している。

○児童は、毎時間の授業に熱心に取り組んでいるが、学んだことがその1時間で終わってしまい、他の学習や生活の中で生かそうという意識が低い。他教科や生活と関連付けた学びができるように、教員が意図的に授業を仕組むことも大切である。授業改善に向けて、教員の研修の充実を図っていきたい。

○読書に関しては、昨年度に引き続き課題が見られる。学校での読書の時間や朝学では熱心に読んでいる姿が見られるが、学校外ではほとんど読書をしていないという結果が出ている。学力調査の分析から「文章を正しく読み取ることができない」という課題が挙げられているが、読書が少ないことが影響していると考えられる。昨年度、地域の方にもご協力いただき「図書館まつり」を開催し、読書への興味を高める取組を行った。今後もこのような取組を継続するとともに、学校の本を持ち帰り、家の人に紹介するなど、子どもたちだけでなく大人（家族）も一緒になって読書に親しむことのできる環境づくりをすることが大切である。そのために、PTAとも連携し、何らかの対策を講じていきたい。

【算数の問題から】

課題となった問題です。ご家庭でお子さんと一緒に考えてみてください。

上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
 下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
 また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

正解はすぐに分かると思いますが、どのように説明しますか？ぜひ挑戦してみてください。
 〈ヒント〉 高さはどこになるでしょう。

学校評価アンケートの結果

1学期末に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせします。先日の学校運営協議会で結果をお示ししております。今後、学校運営協議会において、委員の皆様からのご意見をいただき、課題解決に向けて取り組んでいきます。皆様、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

	項目	児童	保護者	教職員	学校関係者
1	あなたは、自ら考え、進んで学習に取り組んだり、振り返りをしたりしている。	3.4	2.8	3.1	3.0
2	あなたは、ICT(タブレット等)を活用して考えをまとめたり、学び合ったりする学習に意欲的に取り組んでいる。	3.4	3.1	3.5	3.7
3	あなたは、地域のことを学んだり、地域の人(小中学生を含む)と学んだりすることが楽しいと感じている。	3.4	3.6	3.7	3.5
4	あなたは、年間統一テーマ(チャレンジ目標)に向かって努力している。 (自ら考え、行動し、発信しよう)	3.4	2.8	3.1	3.7
5	あなたは、相手が気持ちよくなる言葉や思いやりのある言葉を使っている。	3.2	3.0	2.5	2.8
6	あなたは、かみのせき學苑を花いっぱいにするための活動に、進んで取り組んでいる。	3.2	2.9	2.9	3.0
7	あなたは、学校や地域で運動に取り組む、体を動かす習慣が身についている。	3.3	2.9	3.0	2.8
8	あなたは、SNSの約束(3箇条、10箇条)を意識してインターネット機器を使っている。	3.4	2.6	3.1	
9	あなたは、自分の健康を考えた食生活をしている。	3.2	2.8	3.0	
10	あなたは、小中一貫教育の取組やそのよさについて理解している。			3.2	
	あなたは、小中一貫教育の取組を知っている。		3.1		3.7
11	あなた(学年部)は、学年だより等を通して保護者や地域へ情報発信をしている。			3.5	
	あなたは、学年だよりや学年だより等、学校からのお知らせに目を通している。		3.7		3.7
12	あなたは、人権教育や道徳教育について理解し、児童生徒に人権尊重の意識を高め、道徳性を養う声かけをしている。			3.5	
	あなたは、人権教育や道徳教育について理解し、お子さんに人権尊重の意識を高め、道徳性を養う声かけをしている。		3.1		2.9
13	あなたは、いじめのない学校(学級)づくりに努めている。			3.8	
	あなたは、いじめのない学校づくりに向けた学校の取組を知っている。		3.3		3.1
14	あなたは、学校安全(交通事故防止、災害への備え、危機管理など)について理解し、安心・安全な学校(学級)づくりに努めている。			3.5	
	あなたは、学校安全(交通事故防止、災害への備え、危機管理など)に向けた学校の取組を知っている。		3.4		3.3
15	あなたは、学校・家庭・地域が連携した教育活動を理解し、実践したり、活動に参加したりしている。				3.3
	あなたは、学校・家庭・地域が連携した教育活動を理解し、進んで活動に参加している。		3.1	3.5	
16	あなたは、お子さんの家庭学習の内容や時間に関心を持ち、様子を観察したり声かけをしたりしている。		3.2		
17	あなたは、家庭でSNSやゲーム等の使用についてのルールを決め、お子さんと共に、家族全員で守るよう意識している。		2.9		

【問1】児童は自らの学習に取り組む姿勢に高評価である一方、大人の評価が低い。点数には表れない子どもたちの意欲を見取ることが必要である。

【問3】地域学習については、全てにおいて同様に高評価である。地域連携による学びの効果がうかがえる。

【問1、2、4】児童と保護者の評価に差が見られる。2、4については、学校での様子を伝えたり、見てもらう機会を増やしたりする必要はある。

【問8、17】SNSの約束については、保護者の評価が低いことから、その使い方にはまだまだ課題があると思われる。家庭と学校とが連携するとともに、児童が自分事として考えられるような機会を設ける必要がある。

【問12、13】人権教育やいじめの問題については、教職員と比較して保護者や地域の方の評価が低い。学校からの発信や日頃の学校生活での取組の充実が必要である。